

臨床研究「経皮的な隔心筋焼灼術における完全房室ブロックの発生と術中 PQ 時間の関連」 について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な隔心筋焼灼術は、経カテーテル的に冠動脈の中隔枝にアルコールを注入し心室中隔に人工的に心筋梗塞をつくり肥大を軽減する治療です。治療効果は実証されていますが、心室中隔内を走行している心臓の電線が傷害されて（完全房室ブロックと言います）、恒久的ペースメーカー挿入術が必要になることが、10～30%に存在するとされています。本研究では、術中に完全房室ブロックの発生が予見できるかどうかを検証します。

② 研究対象者

2018年4月1日から2023年3月31日までに当院で経皮的な隔心筋焼灼術を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

術中に装着している体表の心電図を、術後に振り返って解析します。心電図において、心臓の上の部屋（心房）から下のポンプの部屋（心室）に電気が流れる時間を PQ 時間と言います。術中の PQ 時間を解析することで、完全房室ブロックの発生が予見できるか検証します。

⑤ 試料・情報の項目

術中心電図上の PQ 時間

⑥ 試料・情報の第三者への提供について：予定はありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 病院講師 平谷太吾

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 平谷太吾

電話 029-853-3143（平日 9～17 時まで）